

当院で実施する研究に対するご協力をお願い

課題名

小児の炎症性疾患の重症化に関与する因子についての研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお1人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2010年4月1日から2025年3月31日の期間に当院小児科を受診し、炎症性疾患の治療を受けられた小児、または、発熱以外の症状で当院小児科を受診した小児。

2. 研究目的・方法

小児の炎症性疾患は、感染症、自己免疫疾患、免疫異常など多岐にわたりますが、多くの小児の炎症性疾患では、その病態は明らかになっているわけではありません。また、重症例では合併症や後遺症のために長期間の治療が必要となることもあります。

この研究では、小児の炎症性疾患を患った患者さんの病原体の検索や、サイトカインなどのバイオマーカーの測定を行い、この疾患の病態や重症化のメカニズムとの関連を明らかにし、新規治療の開発や重症度に応じた適切な治療法の確立に生かすことを目標とします。

この研究は大阪市立大学大学院医学研究科が代表施設となって実施され、当院も参加協力しており、2025年3月まで実施する予定です。

3. 試料・情報の利用拒否

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2021年3月以降にこの研究への参加する患者さんは別途書面にて同意をいただき、採取された血液、髄液の残りの検体を、研究のために保存し使用させていただくとともに、咽頭ぬぐい液、糞便、水泡穿刺液などの検体を、通常の診療に追加して採取させていただきます。これらの検体と、患者さんの性別・身長・体重や診断名・症状などの情報を使用させていただきます。

2010年4月から2021年2月までに当院小児科を受診し、炎症性疾患の治療を受けられた対象の患者さんについては、患者さんの性別・身長・体重や診断名・症状などの情報のみを使わせていただきます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

和泉市立総合医療センター

所属・職位・氏名：小児科・部長・坂東 賢二（研究責任者）

住所：〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1

連絡先：0725-41-1331

（2021年2月2日作成（第1.0版））